

日本地震工学会「原子力安全のための耐津波工学の形成に関する調査委員会」の活動経過

実施項目	2012 年			2013 年				2014 年			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
1. 成果目標の検討			1回 (12/6) 2回 (12/27) 基本方針								
2 本論		各章の骨子、3.11 地震時の対応(1)：東電 地震・津波工学&原子力安全(2章)、 3.11 地震時の対応(2)：東北電 原子力発電所の地震・津波事故シナリオ(3章)、 地震・津波対策：中部電 原発の地震・津波安全に関する性能(4章)、 地震・津波対策：関電 リスク論に基づく津波防御の体系(5章)、 他組織の取り組み(JSCE, JNES, JEA など) 津波の外力作用(6章)、国際的動向	3回 (3/29)	4回 (5/16) 5回 (6/12)	6回、7回 8回、9回	10回	11回、12回	13回			
3. まとめ				津波防御の工学的方法(7章)							
原発サイト視察				4/15, 5/10, 13 22, 24				報告書とりまとめ			
準備会・事務局打合せ	4/20, 5/25, 8/2, 8/6 8/7	7/11, 8/2, 8/6 11/27, 12/13, 20, 25		3/28	4/5						
幹事会・特定課題討議		8/22, 9/18	10/11, 11/2, 11/21	2/13	4/10						
シンポジウム等の開催				原子力津波安全シ キ (JAEE, AESJ) (案)							
日本原子力学会等の活動状況											
特別専門委員会											
年次大会		秋の大会		春の年会		秋の大会		春の年会		秋の大会	

+上記のほか、原発サイトの視察を行う方針（候補：福島第一 U5,U6、福島第二、女川、浜岡、柏崎刈羽、滋賀、関電関係など）

+各章関係の発表の中に、原発サイトでの適用例を適宜含める